

2020年度（2021年3月期） 第1四半期業績概況

2020年8月7日

H.U.グループホールディングス株式会社

※ 本資料では、記載している部分及びEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT : 受託臨床検査事業 IVD : 臨床検査薬事業

SR : 滅菌関連事業 ENB : 新規育成事業及びその他

※ 2019年度第1四半期より報告セグメントを変更しております。本資料は過去実績も遡及し、変更後の報告セグメントの報告区分に基づき作成しております。

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2019年度1Q : 1USD = 109.90 JPY 1EURO = 123.48 JPY

2020年度1Q : 1USD = 107.62 JPY 1EURO = 118.45 JPY

新型コロナウイルス感染症による業績影響

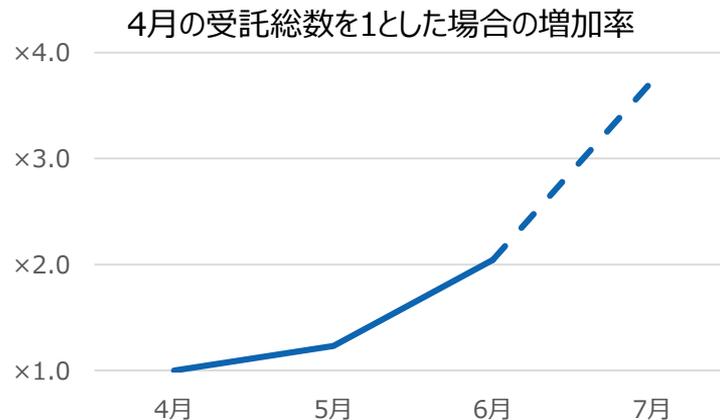
1Q業績への影響：CLT

ID数※ (PCR、抗体等新型コロナウイルス関連検査を除く)



- 4月、5月は受診抑制の影響により大幅減
- 6月、7月はほぼ前年並みに回復
- 今後の見通しは不透明

PCR検査受託状況 (新型コロナウイルス関連)



受託実績

- 月を追うごとに検査数量が増加
- 直近では3,500~4,000件/日

検査キャパシティ

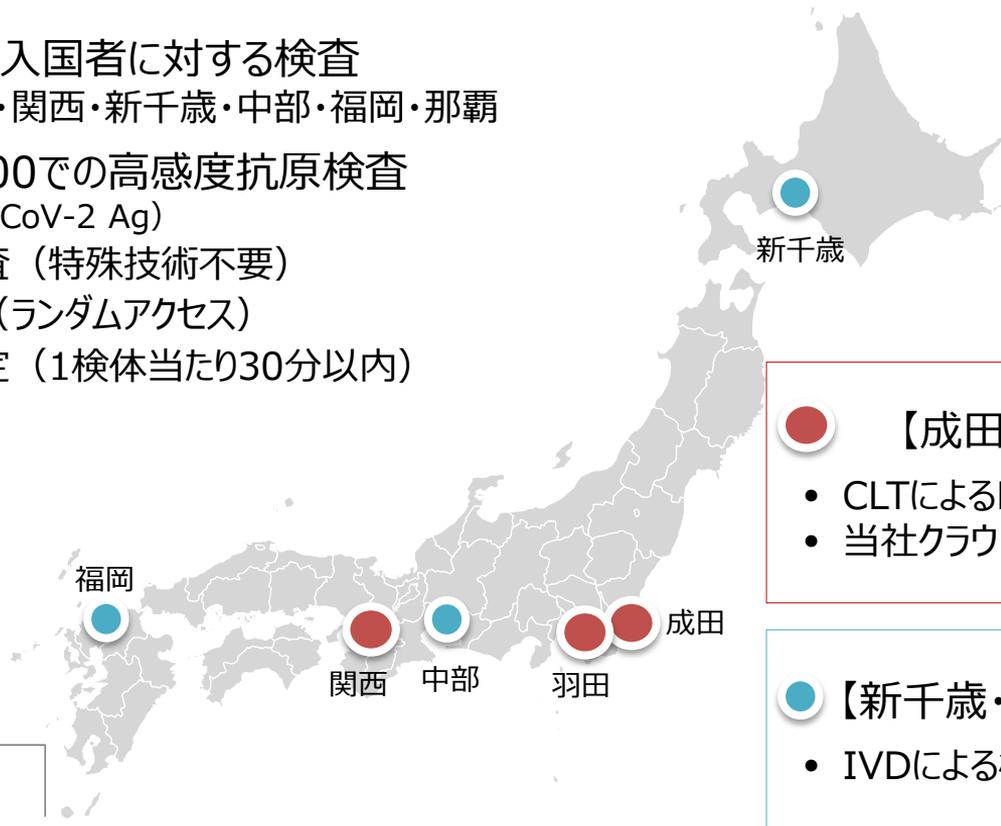
- 8月7日現在 5,600件/日
- 8月末 7,000件/日 (予定)
- 10月 10,000件/日 (予定)

1Q業績への影響：IVD・SR

IVD	国内ルミパルス	<ul style="list-style-type: none">検査数減少により試薬の需要が減少
	OEM・原材料	<ul style="list-style-type: none">グローバルでの検査需要が減少
	その他	<ul style="list-style-type: none">迅速抗原検査キット（エスプラインSARS-CoV-2）の売上が貢献
SR		<ul style="list-style-type: none">患者数、手術数の減少に伴い医材預託品販売が減少検診実施の延期に伴い院外滅菌が減少

空港検疫所での高感度抗原検査 (ルミパルスSARS-CoV-2 Ag)

- 検疫所における入国者に対する検査
 - ✓ 成田・羽田・関西・新千歳・中部・福岡・那覇
- ルミパルスG1200での高感度抗原検査 (ルミパルス SARS-CoV-2 Ag)
 - ✓ 全自動検査 (特殊技術不要)
 - ✓ 逐次検査 (ランダムアクセス)
 - ✓ 短時間測定 (1検体当たり30分以内)



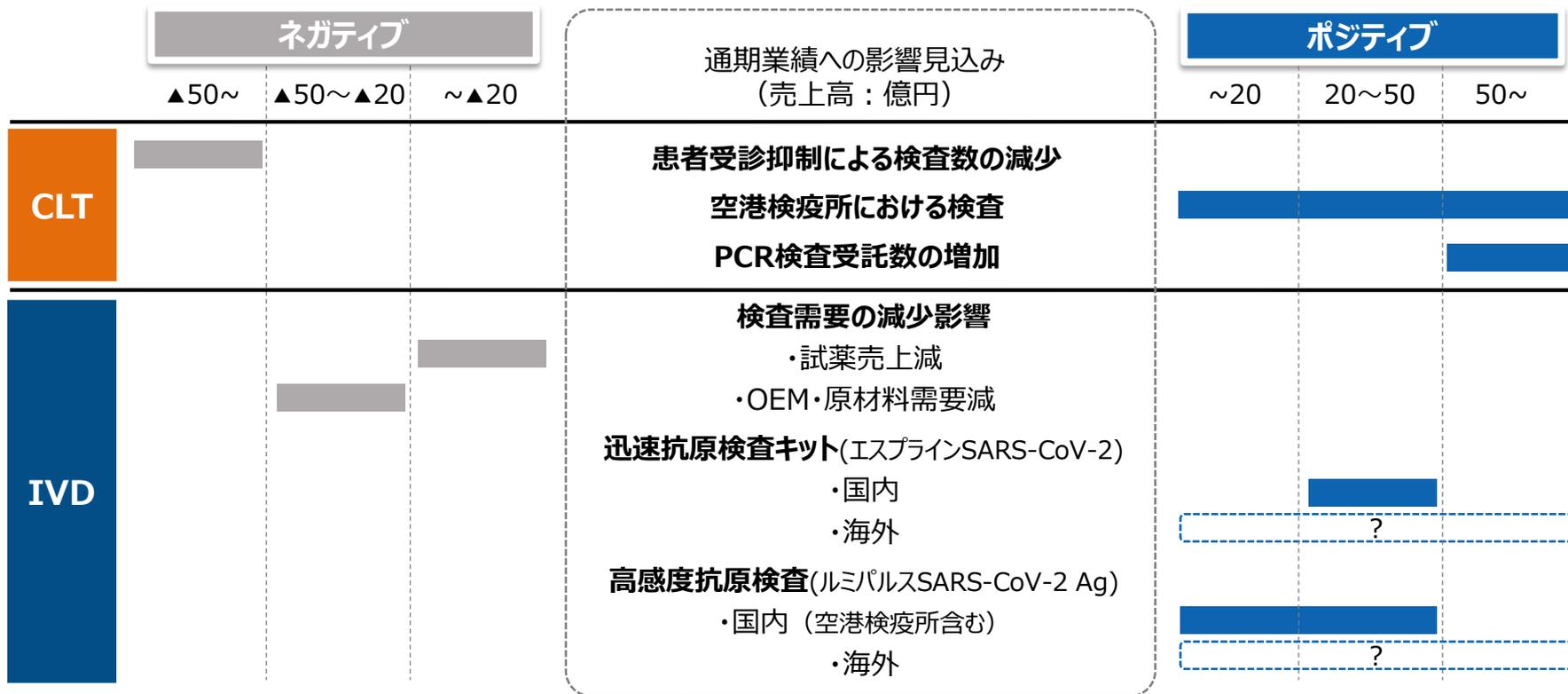
【成田・羽田・関西空港】

- CLTによるFMS※+包括的検査サポート
- 当社クラウド臨床検査システム使用

【新千歳・中部・福岡・那覇空港】

- IVDによる機器+試薬販売

通期連結業績（売上高）への影響見込み



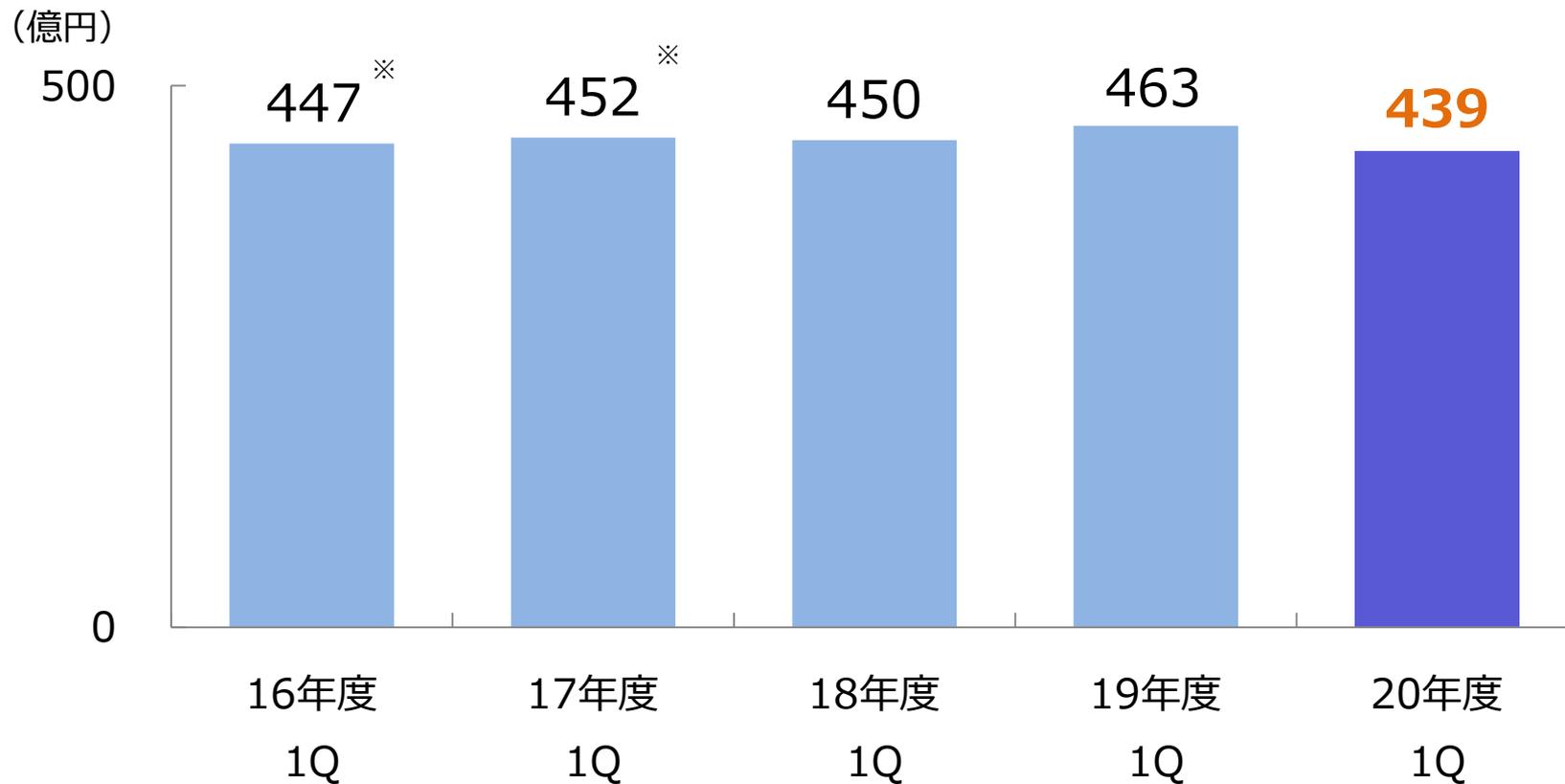
不確定要素が多く、現時点において通期業績を予想することが困難

H.U.グループの新型コロナウイルス検査における提供サービス・製品

目的	現時点における感染の有無			感染履歴
	核酸検査	抗原検査		抗体検査
検査種別	PCR検査 (検査受託)	高感度抗原検査 (ルミバルス SARS-CoV-2 Ag)	迅速抗原検査 (エスプライン SARS-CoV-2)	高感度抗体検査 (検査受託)
			 ルミバルスG1200	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 最も感度が高い 検査可能な施設・機器に限られ、 嚴重な梱包での検体輸送が必要 	<ul style="list-style-type: none"> PCR検査に準ずる感度 自動化された検査機器、医療機 関内で検査 	<ul style="list-style-type: none"> 検査機器を必要としない 患者の傍で検査 同一検体でインフルエンザ抗原の 検査が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 自動化された検査機器
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> 有症患者の確定診断（退院時の陰性確認を含む） 無症状者に対する陰性確認（空港検疫、濃厚接触者） 		<ul style="list-style-type: none"> 有症患者の診断 陽性：確定診断 陰性：発症2日目から9日以内は 確定診断 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの感染履歴の有無 (疫学調査 等)
検体種別	鼻咽頭ぬぐい液 唾液	鼻咽頭ぬぐい液 唾液	鼻咽頭ぬぐい液 (唾液は開発中)	血液
検査時間	4時間	30分以内	10~30分以内	30分以内
受託・製造拠点	主に八王子ラボ	相模原工場	宇部工場 (旭川工場 年内稼働予定)	主に八王子ラボ
キャパシティ	(受託能力) 5,600件/日	(試薬製造能力) 7万テスト/日	(製造能力) 20万テスト/週	(受託能力) 1万件/日以上
提供開始時期	2/12：行政検査開始 3/6：保険収載	6/22：販売開始 6/25：保険収載	5/13：販売開始 5/13：保険収載	6/1：検査受託開始

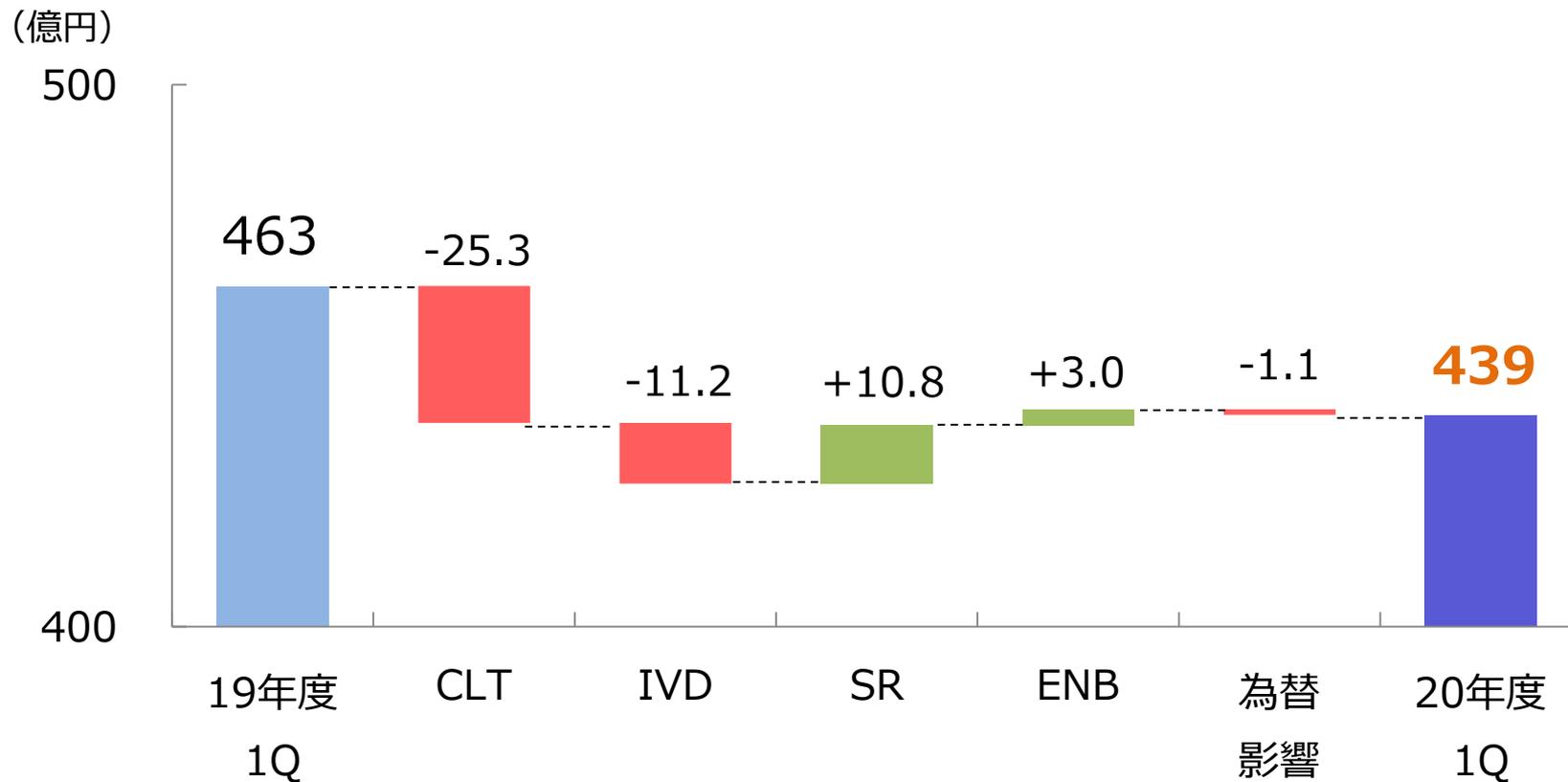
2020年度（2021年3月期）第1四半期業績概況

連結売上高 推移

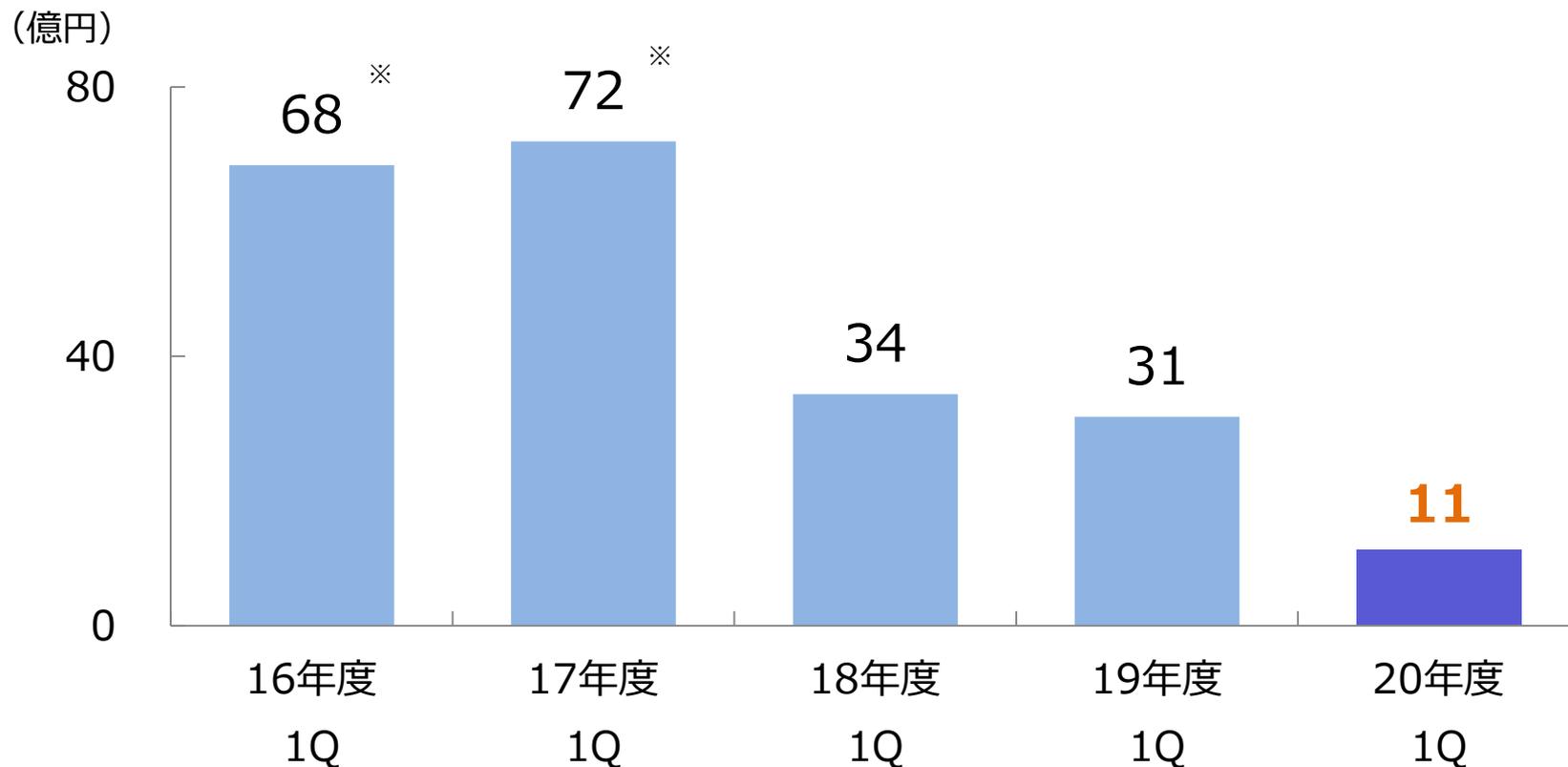


※ 海外CLTを除く

連結売上高 対前年同期比較

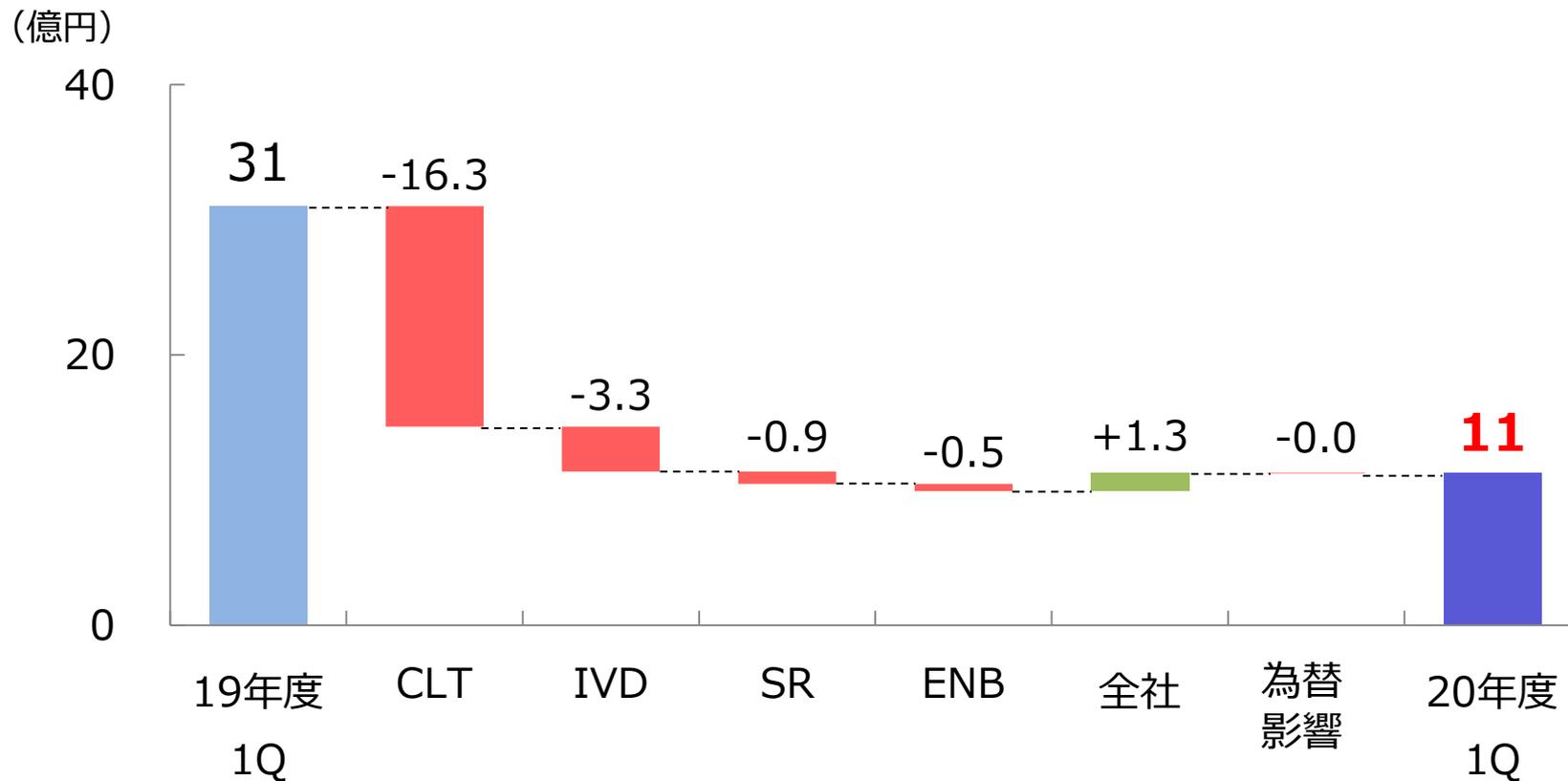


連結営業利益 推移

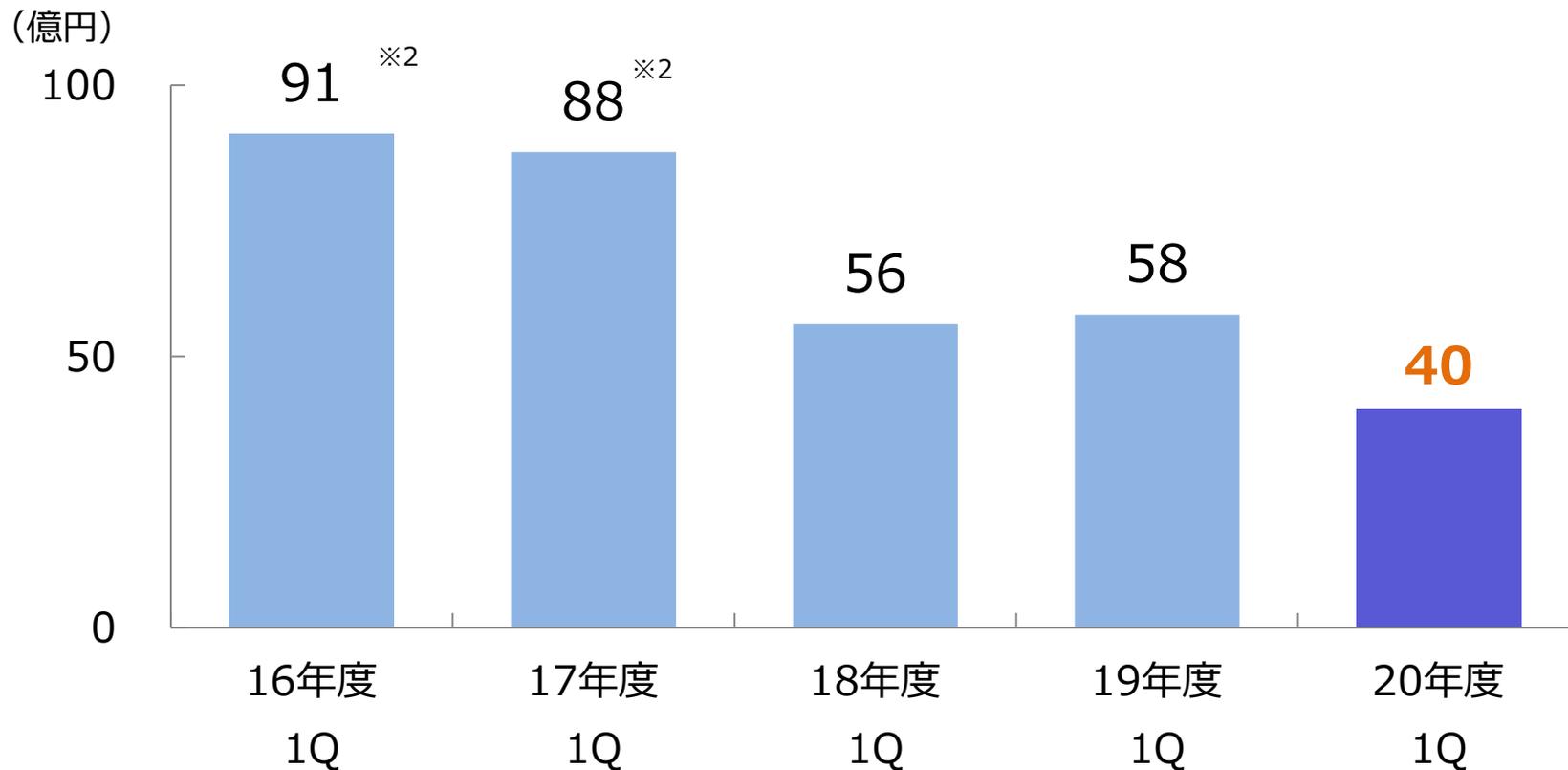


※ 海外CLTを除く

連結營業利益 対前年同期比較



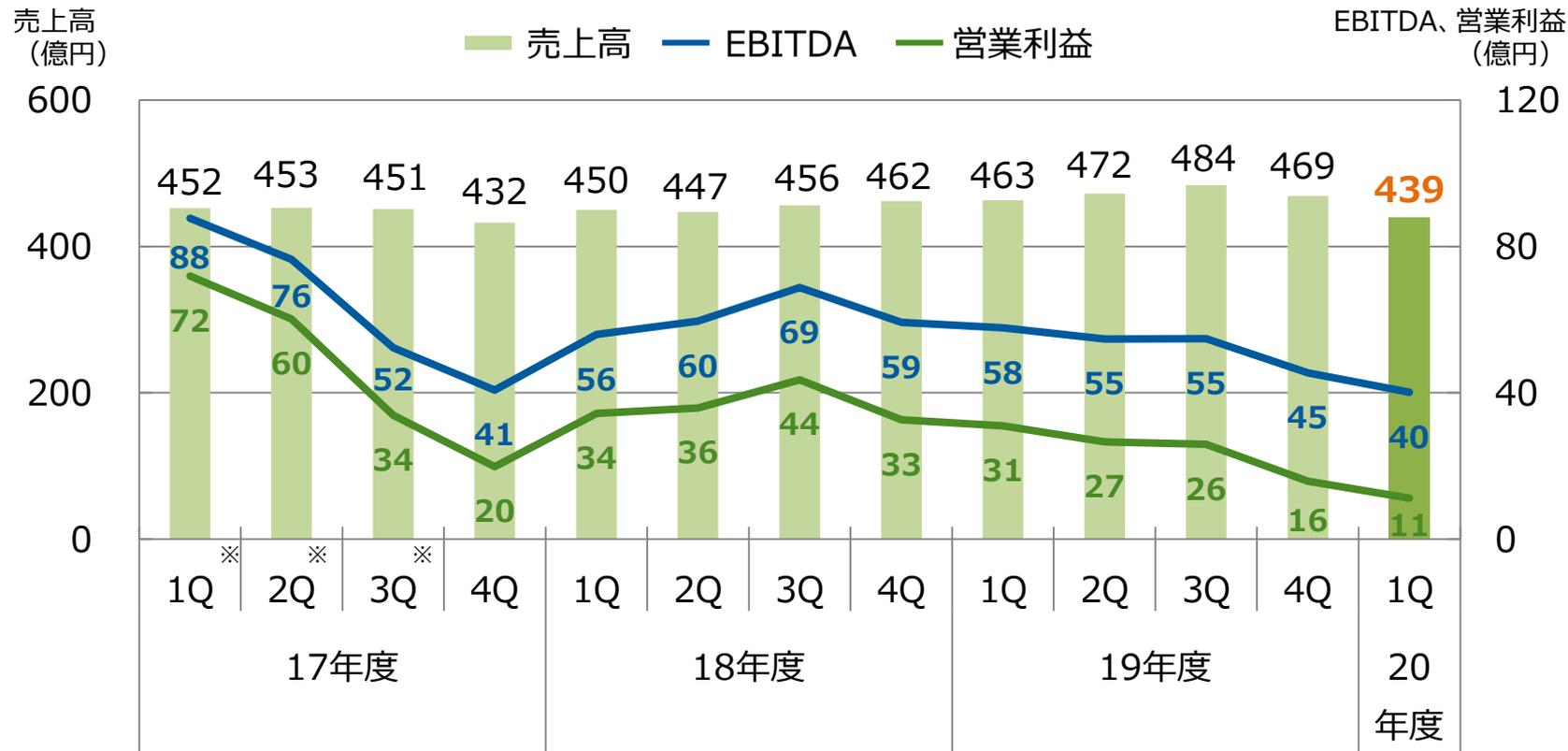
連結EBITDA^{※1}推移



※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

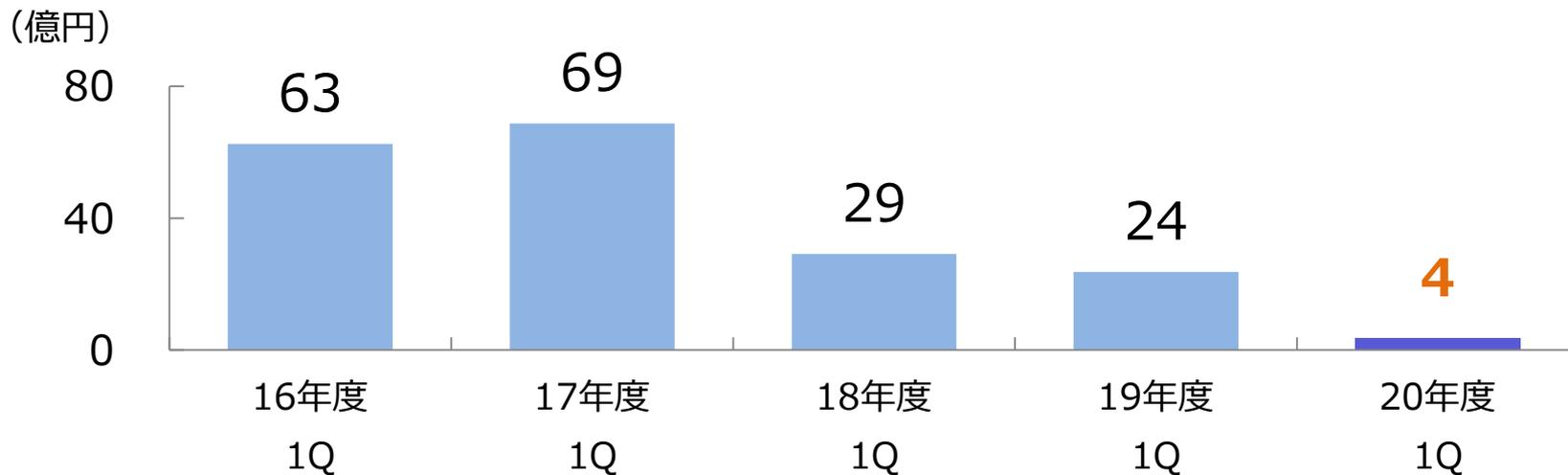
※2 海外CLTを除く

四半期毎の業績推移



※ 海外CLTを除く

連結経常利益 推移



主要要因

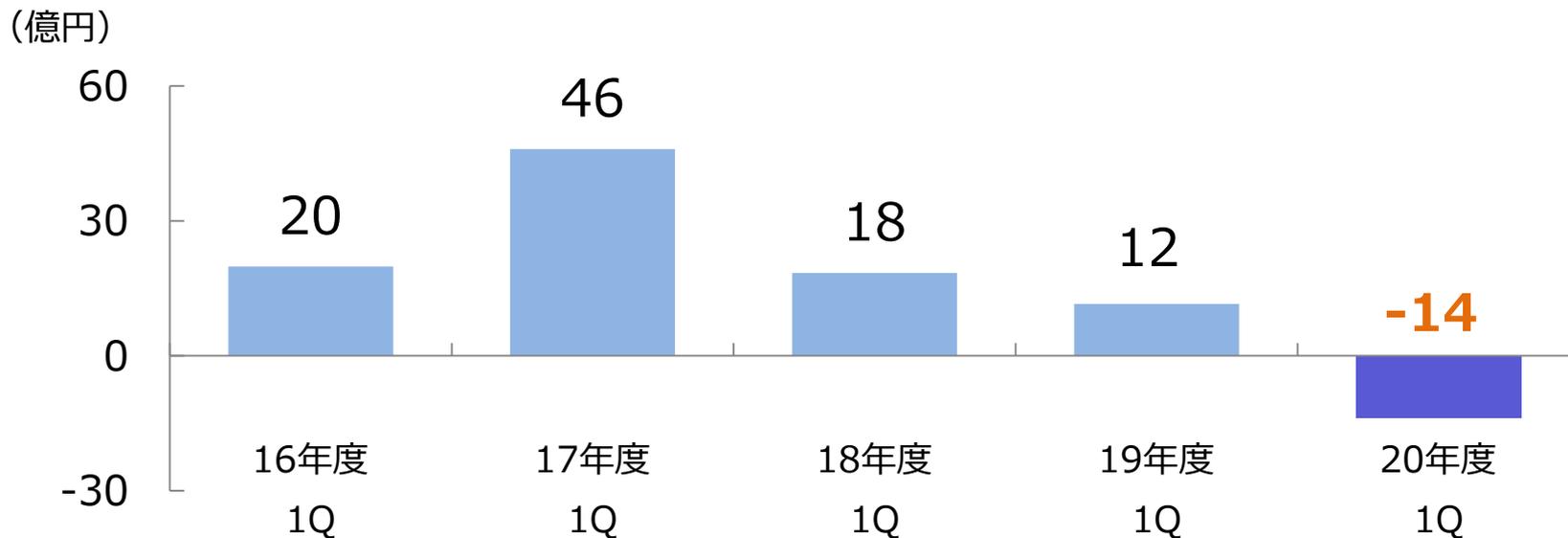
【2019年度1Q】

- 持分法による投資損失 ▲6.6億円
 - ✓ BMGLのみ
 - ✓ 平安保険グループとのJVは19年度2Qより計上

【2020年度1Q】

- 持分法による投資損失 ▲6.1億円
 - ✓ BMGL ▲4.9億円
 - ✓ 平安保険グループとのJV ▲1.2億円

連結当期純損益 推移



主要要因

【2019年度1Q】

● 法人税等調整額 ▲6.9億円

【2020年度1Q】

● IVDインド子会社清算 ▲3.6億円
● 法人税等調整額※ ▲11.4億円

※主に一時差異による。通期では▲5億円以内に圧縮される見込み

CLT事業

四半期推移

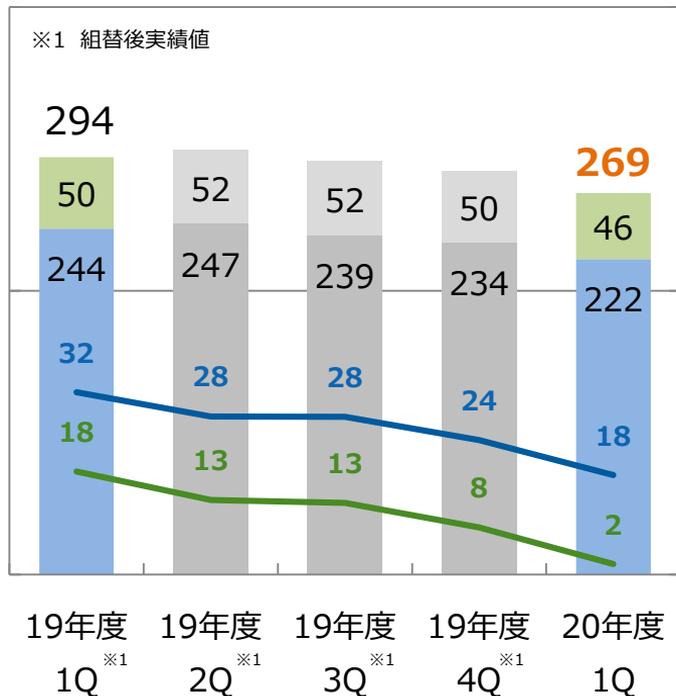
売上高
(億円)

400

200

0

※1 組替後実績値



EBITDA
営業利益
(億円)
100

50

0

■ 院外事業 ■ 院内事業 — EBITDA — 営業利益

対前年同期比

(億円)

	19年度 1Q	20年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	294	269	-25.3	-8.6%
院内	50	46	-3.8	-7.6%
院外	244	222	-21.4	-8.8%
EBITDA	32	18	-14.6	-45.4%
営業利益	18	2	-16.3	-89.8%

売上高

- テスト数：-16.5%
- 患者の受診抑制等による検査受託数の減少
- 遺伝子関連検査及び新型コロナウイルスPCR検査の増加

営業利益

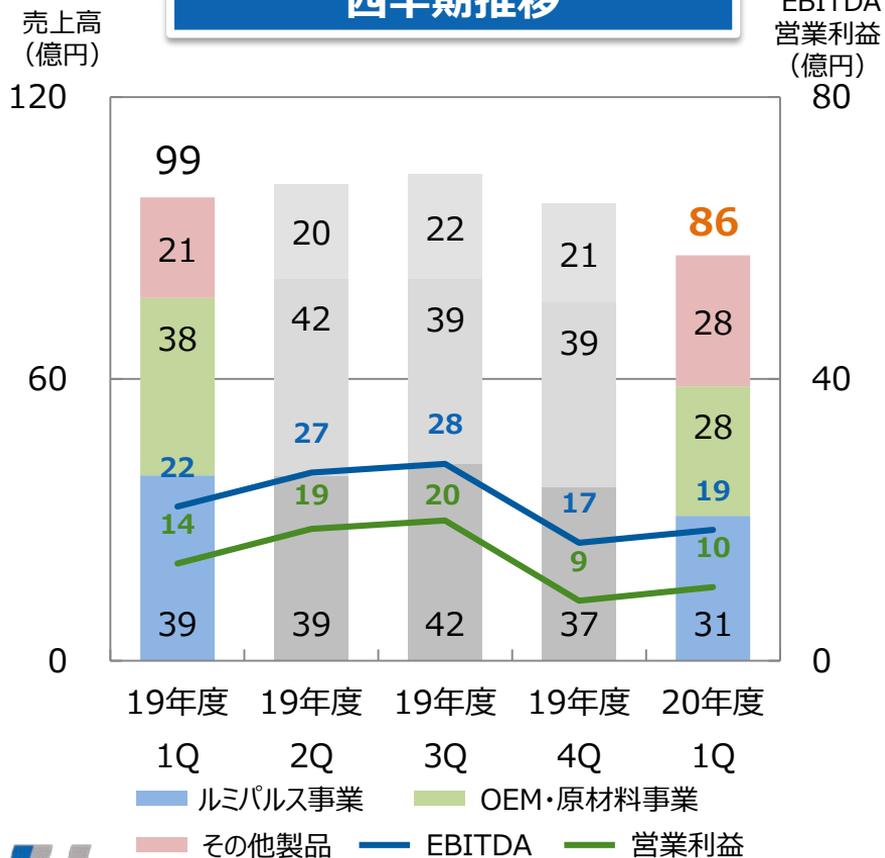
- 売上高減少に伴い減少
- 価格影響は想定の範囲内で推移
- 減価償却費の増加 (▲2億円)

※1 今年度よりSPSサービス事業をSR事業へ承継したことに伴い過去実績は遡及して組替後実績値を掲載（2019年12月19日付リリース参照）

※2 SPS（サニタリー・パッケージ・システム）サービス：白衣等ユニフォームのリース、メンテナンス、利用者個人別の管理を医療機関に提供するサービス

IVD事業

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	19年度 1Q	20年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	99	86	-12.3	-12.4%
ルミパルス	39	31	-8.6	-21.9%
国内	35	27	-8.0	-22.8%
海外	5	4	-0.7	-14.5%
OEM・原材料	38	28	-10.2	-26.9%
その他	21	28	+6.5	+30.5%
EBITDA	22	19	-3.3	-15.0%
営業利益	14	10	-3.4	-24.3%
ルミパルス G内取引高	6	6	+0.6	+10.5%

売上高

- 検査需要の減少に伴う減収 (ルミパルス、OEM・原材料)
- 迅速抗原検査キット (エスプラインSARS-CoV-2) の伸長による増収

営業利益

- 売上高減少に伴い減少
- 前年度に大口顧客獲得費用が発生
- 機台設置に伴う先行費用の縮小

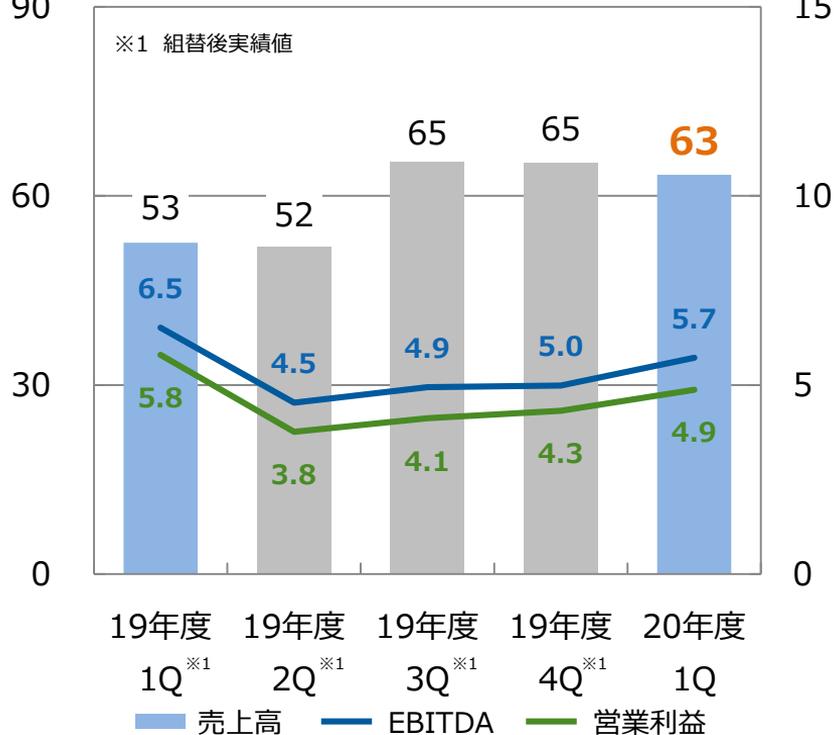
インド子会社の清算を決定 (特別損失約3.6億円)

SR事業

四半期推移

売上高
(億円)
90

EBITDA
営業利益
(億円)
15



対前年同期比

(億円)

	19年度 1Q	20年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	53	63	+10.8	+20.5%
EBITDA	6.5	5.7	-0.8	-12.2%
営業利益	5.8	4.9	-0.9	-15.9%

売上高

- 19年度3Qから開始した大口顧客への医材預託品販売

営業利益

- 検診実施の延期により院外滅菌売上が減少したことに伴う減益
- 医材預託品販売からの増益貢献は限定的

※1 今年度よりSPSサービス事業をCLT事業から承継したことに伴い過去実績は遡及して組替後実績値を掲載（2019年12月19日付リリース参照）

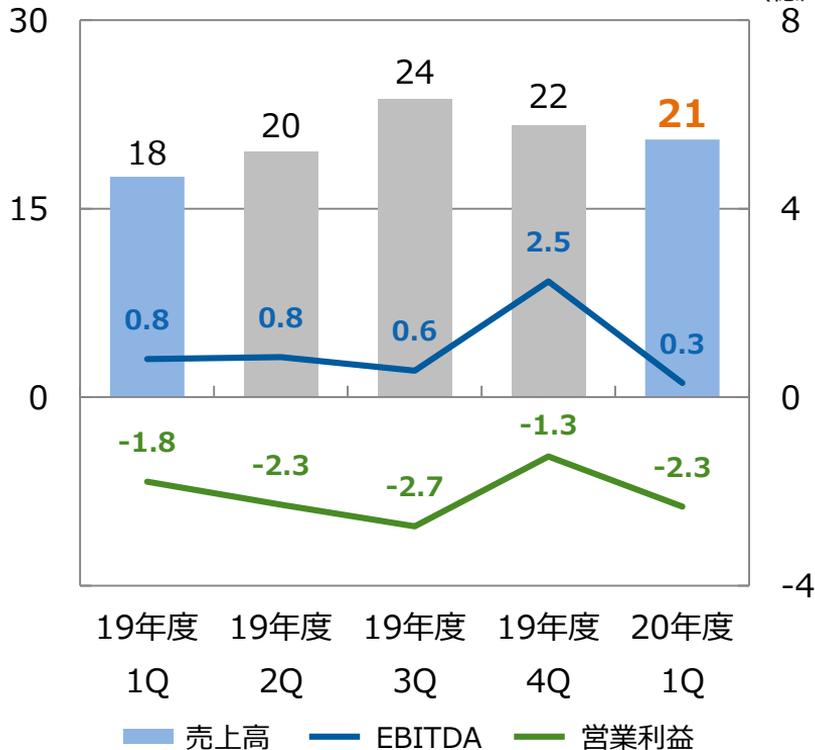
※2 SPS（サニタリー・パッケージ・システム）サービス：白衣等ユニフォームのリース、メンテナンス、利用者個人別の管理を医療機関に提供するサービス

ENB事業

四半期推移

売上高
(億円)

EBITDA
営業利益
(億円)



対前年同期比

(億円)

	19年度 1Q	20年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	18	21	+3.0	+16.9%
EBITDA	0.8	0.3	-0.5	-63.0%
営業利益	-1.8	-2.3	-0.5	-

売上高

- 日本食品エコロジー研究所の売上が寄与 (+2億円)
- 在宅・福祉用具事業の伸長 (+1億円)
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、食品検査事業、健保事業において売上減少

営業利益

- 食品・環境・化粧品事業を中心に事業立ち上げに伴う先行費用が継続

連結業績（対前年同期比）

	19年度 1Q	20年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	463	439	-23.8	-5.1%
CLT	294	269	-25.3	-8.6%
IVD	99	86	-12.3	-12.4%
SR	53	63	+10.8	+20.5%
ENB	18	21	+3.0	+16.9%
営業利益	31 6.7%	11 2.6%	-19.8	-63.7%
CLT	18 6.2%	2 0.7%	-16.3	-89.8%
IVD	14 14.0%	10 12.1%	-3.4	-24.3%
SR	6 11.0%	5 7.7%	-0.9	-15.9%
ENB	-2 -10.2%	-2 -11.3%	-0.5	-
経常利益	24 5.1%	4 0.8%	-20.0	-84.6%
親会社株主に帰属する 当期純損益	12 2.5%	-14 -3.2%	-25.4	-
EBITDA	58 12.5%	40 9.1%	-17.6	-30.5%

(億円)

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む(19年度1Q：▲5.0億、20年度1Q：▲3.6億円)

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR課 TEL : 03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。